(株) 安川電機

インバータ / サーボ SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	8
3	通信設定例	9
4	設定項目	53
5	結線図	57
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象インバータ/サーボ)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

(株) 安川電機製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

1.1 インバータ

シリーズ	インバータ ^{※1}	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
Varispeed E7	CIMR-	インバータトのポスム	RS422/485 (4 線式)	設定例 1 (9 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
vanspeed i 7	F7A0000		RS422/485 (2 線式)	設定例 2 (11 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
Varispeed G7	CIMR-	ノンバータトの把フム	RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (13 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
Valispeed Gr	G7A□□□□	インハータ上の姉子百	RS422/485 (2 線式)	設定例 4 (15 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
VS mini 17	CIMR-	SI-485/J7 RS-422/485	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (17 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
	J70A0000	ド上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 6 (19 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
VS mini V7/	CIMR-	インバータトの増えム	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
VS-606V7	V7DADDDD	インバータ上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (23 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
Varispeed E7S	CIMR- F7S□□□□	インバータ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 9 (25 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
vanspeed i 70			RS422/485 (2 線式)	設定例 10 (27 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
	CIMR-	ハンジーカーの押フム	RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (29 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
	L7B000	インハータ上の端十日	RS422/485 (2 線式)	設定例 12 (31 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
Varispeed AC	CIMR- ACA□□□□	インバータ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 13 (33 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
Valispeed AC			RS422/485 (2 線式)	設定例 14 (35 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
1/4.000	CIMR-	インバータ上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 15 (37 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
1000	VADADDDD		RS422/485 (2 線式)	設定例 16 (39 ページ)	結線図 2 (64 ページ)
11000	CIMR-	SI-485/J RS-422/485 イ ンターフェイスカード 上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 17 (41 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
J1000	JADADDD		RS422/485 (2 線式)	設定例 18 (43 ページ)	結線図 2 (64 ページ)

シリーズ	インバータ ^{※1}	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
A1000	CIMR-	ハンバーカトの出てム	RS422/485 (4 線式)	設定例 21 (49 ページ)	結線図 1 (57 ページ)
11000			RS422/485 (2 線式)	設定例 22 (51 ページ)	結線図 2 (64 ページ)

※1 インバータの型式の口は最大適用モータ容量などによって異なります。

■ 接続構成

♦ 1:1 接続



◆1:n 接続



1.2 Σ-V シリーズ

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
アナログ電圧・パル ス列指令形 回転形 サーボモータ	SGDV-□□□□01	サーボパック上 のディジタルオ	RS422/485 (4 線式)	設定例 19 (45 ページ)	結線図 3 (76 ページ)
アナログ電圧・パル ス列指令形 リニア サーボモータ	SGDV-000005	ペレータ用コネ クタ (CN3)	RS422/485 (4 線式)	設定例 20 (47 ページ)	結線図 3 (76 ページ)

■ 接続構成

♦ 1:1 接続



◆1:n接続



■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

シリーブ		使用可能ポート	
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)
PS-2000B	COM1 ^{** 1} 、COM2、 COM3 ^{** 1} 、COM4	-	-
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{** 1} ** 2	COM2 ^{**} ¹ ^{**} ²
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{** 1}	-	-
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	$COM1 \times 1 \times 2$, COM2	COM1 ^{** 1} ^{** 2}	COM1 ^{**} 1 ^{**} 2
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{** 1} , COM2 ^{** 1} , COM3 ^{** 2} , COM4	COM3 ^{** 2}	COM3 ^{** 2}
PS-3711A	COM1 ^{** 1} 、COM2 ^{** 2}	COM2 ^{** 2}	COM2 ^{** 2}
PS4000 ^{× 3}	COM1、COM2	-	-
PL3000	COM1 ^{**} ¹ [*] ² COM2 ^{**} ¹ , COM3 COM4	COM1 ^{**} 1 ^{**} 2	COM1 ^{**} ¹ ^{**} ²

※1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

※2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

※3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C の みサポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないで ください。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。

ディップスイッチの設定: RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ^{[×]1}	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信士士 · BS 222C	
3	OFF	通信刀式 KS-232C	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC/DTC) 白動判御エード・無効	
10	OFF	へろ(へいろ) 日 勤 町1 仰 て 一 下 ・ 荒 次	

※1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。 ディップスイッチの設定:RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信卡式·BS 422/485	
3	ON	通信万式, KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡:しない	
9	OFF	DS(DTS) 白動判御エード・無効	
10	OFF	への(入13) 日期前時に「下・無効	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信士士·BS 422/495	
3	ON	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DC/DTC) 白動判御エード, 右劫	
10	ON	KS(K15) 日動前御モート:有効	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ようこそ GP-Pro EX ヘ			×
GP-Pro 🛃	接続機器設定	Ē	
	接続機器数		
		接続機器1	
	メーカー	(株)安川電機	-
	ジリース		
	-r	この接続機器のマニュアルを見る	
		<u>しい180/1810/121/772-120</u> 最近使った接続機器	_
	4		Þ
	□ システムエザ	リアを使用する 機器接続マニュ	PILA
	戻	える(B) 通信設定 ロジック画面作成 ベース画面作成 キャン	セル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)安川電機」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「インバータ/サーボ SIO」を選択します。 「インバータ/サーボ SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを 使用する	本ドライバでは使用できません。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 C 7 💽 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップピット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リト ラ イ 2 🚍	
送信ウェイト 10 <u>一</u> (ms)	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
にようのから違いできなう。アングル表になるとのアインレーションユニットを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	[
	1
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 III PUーズ=Varispeed F7スレーブアドレス(DEC)=1	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed F7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	含は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	÷
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

■ 接続機器の設定

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
- 概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数 🔍 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚍 (sec)	
リトライ 2 <u>ニ</u>	
送信ウェイト 10 🚍 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5)/電源(供給)	
にする加速運転できます。テンダル製A32320アイタレーションユニットを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
N. 4///98./27 EA	間接機器
NO. 1版語名 認定 U 1 PLC1 にして、 「シバッドanapad F77 しょうアドレフ(DFC)-1	追加
	*

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed F7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)安川	電機	シリーズ	インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモート	* 1 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485	2線式) ④ RS422/485(4線式))
通信速度	9600	•		
データ長	07	• 8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CT	S) O XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2	Ε		
送信ウェイト	10	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力	1)にするかVOC(5V電	源供給)	
トを使用する場合	"さます。テンダル場 計は、VCCを選択	ERS2320アイソレーシ してください。	ヨンユニッ	:
機器別設定				
接続可能台数	16台 👭	器を追加		
N. 指理之	Er.			間接機器
NO. 1%研究	設定	-7'-Verieseed C7.7	しーゴアドレフ (DEC)-1	追加
M PLOI	ייעכן 🏢	-A=varispeed 67,A		*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed G7	-
シリーズを変更した場合 確認してください。	含は、すでに使用されてい	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式 C R3		天)
通信速度 9600		
データ長 〇 7	• 8	
パリティ 〇 な	し 💿 偶数 🔹 奇数	
ストップビット 💿 1	C 2	
フロー制御 💿 な	L CER(DTR/CTS) CX0N/X0FF	
タイムアウト 3	(sec)	
リトライ 2	H	
送信ウェイト 10	(ms)	
RS232Cの場合、9番ピンを	RI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
にする加を選択できます。テ トを使用する場合は、VCO	シタル要応2320アイソレーションユニッ を選択してください。 初期語	定
機器別設定		<u> </u>
接続可能台数 16台		
NI_ 488.95.47		間接機器
	SRUE SUL-7-Varianced G771,-77KL7(DEC)-1	這加
	TINA V-Agilsheed av VA AVENADEO/-1	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[[([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed G7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	3
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 メーカー (株)安川 [・]	電機	シリーズ 17	ンバータ/サーボSIO	
, 文字列データモード	- : 1 <u>変更</u>	,		,
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2)	線式) · • RS422/485(4線	犬)
通信速度	9600	•		
データ長	O 7	8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	I 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🔅	(ms)		
RI / VCC	I RI	O VOC		
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力) きます。デジカル制	にするかVCCはV電源	「供給)	
トを使用する場合	cago, Johna は、VCCを選択し	てください。	シュニシ	設定
機器別設定				
接続可能台数	16台 機	器を追加		
No 榫鋁名	静宁			間接機器

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	VS mini J7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	含は、すでに使用されて	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	<u></u>
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまた はダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 DSPL キーを押して [PRGM] を選択します。

2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

3 DATA/ENTER キーを押します。

4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n02	2	運転指令選択
n03	6	周波数指令選択
n70	1	スレーブアドレス (DEC)
n71	2	ボーレート選択
n72	0	パリティ選択
n73	10	送信待ち時間
n74	0	RTS 制御

5 DATA/ENTER キーを押します。

6 接続機器を再起動します。

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

	1.255.4515	SUL 5' [Z	1" F/H -==070	1致1元1炭石
メーカー (株)安川	電機	29-X J1	ンハータ/サーホSIO	ж−кјсомі
文字列データモー	ド 1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485(2)	泉式) 〇 RS422/485(4線	(元)
通信速度	9600	•		
データ長	O 7	• 8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2		
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS)	O XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2			
送信ウェイト	10 🔅	(ms)		
RL/ VCC	Ø RI	O VCC		
RS232Cの場合	、 9番ピンをRI(入力	、 していての (こするか) VCC (5V電源	(供給)	
にするかを選択。 トを使用する場	できます。 デジタル製 合は、 VCCを選択し	RS2320アイソレーショ) てください。	ンユニッ 211月日	2
			*/)#/18	
1版研加版定 接続可能台数	16台 機	器奏追加		
AND THE LAN		<u>19 - 567-5721</u>		間接機器
No. 機器名	設定			追加

重要

• VS mini J7 シリーズを 1:n 接続する場合は送信ウェイトを 30ms 以上に設定する必要 があります。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	VS mini J7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	は、すでに使用されて	こいるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまた はダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 DSPL キーを押して [PRGM] を選択します。

2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

3 DATA/ENTER キーを押します。

4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n02	2	運転指令選択
n03	6	周波数指令選択
n70	1	スレーブアドレス (DEC)
n71	2	ボーレート選択
n72	0	パリティ選択
n73	10	送信待ち時間
n74	0	RTS 制御

5 DATA/ENTER キーを押します。

6 接続機器を再起動します。

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS	6422/485(2線式)
通信速度 9600 🔻	(
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 〇なし 🔍 偶	数 〇 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 ● なし ● EF	(OTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 🚞 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 15 📑 (ms)	
)G
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか)	(CC(5V電源(供給)
にするがを選択できます。テンダル要R52320) トを使用する場合は、VOCを選択してください。	インレーションユニッ 初期語改定
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
い。「推理ない」で、「読字」	間接機器
NU. 1版66-0 訳定 V 1 PIC1 訳/S-mi	15m ni 1/7///S=6061/7 スレーブアドレス(DE(

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
製品	インバータ
シリーズ	VS mini V7/VS-606V7
シリーズを変更した場 確認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)) 1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまた はダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 DSPL キーを押して [PRGM] を選択します。

2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

3 DATA/ENTER キーを押します。

4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n03	2	運転指令選択
n04	6	周波数指令選択
n153	1	スレーブアドレス (DEC)
n154	2	ボーレート選択
n155	0	パリティ選択
n156	10	送信待ち時間
n157	0	RTS 制御

5 DATA/ENTER キーを押します。

6 接続機器を再起動します。

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)安川電	機	シリーズ [インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/4850	2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	07	• 8		
パリティ	○ なし	◉ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CT	S) O XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	15 芸	(ms)		
RI / VCC	© RI	n voc		
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)	こするか VCC (5V電)	源供給)	
にするかを選択でき トを使用する場合(はす。テンタル要f む、VCCを選択し	ほ2320アイソレーシ てください。	ヨンユニッ 初期設定	1
機器別設定				_
接続可能台数 1	6台 機器	<u> 春追加</u>		
11. 书版史中之	= 7			間接機器
NO. 1米研治	調定 しょう	1-VS mini V7A/S	-606\/7.7.L	追加
M PLOT			COOVER DATE AND CO	11

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
製品	インバータ 💌
シリーズ	VS mini V7/VS-606V7
シリーズを変更した場合 確認してください。	は、すでに使用されているアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1 🗄
	初期設定
	OK(()) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまた はダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 DSPL キーを押して [PRGM] を選択します。

2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

3 DATA/ENTER キーを押します。

4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n03	2	運転指令選択
n04	6	周波数指令選択
n153	1	スレーブアドレス (DEC)
n154	2	ボーレート選択
n155	0	パリティ選択
n156	10	送信待ち時間
n157	0	RTS 制御

5 DATA/ENTER キーを押します。

6 接続機器を再起動します。

3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 🔽		
通信設定		
通信方式(○ RS232C ○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	
データ長(07 💌 8	
パリティ (こなし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット (●1 O 2	
フロー制御(● なし ○ ER(DTR/CTS) ○ XON/XOFF	
タイムアウト 🛛	3 🔆 (sec)	
リトライ [2 🗄	
送信ウェイト 🏾 🗍	10 📑 (ms)	
RI / VCC (TRI OVCC	
RS232Cの場合、9番1 にするかを選択できま	² ンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) # デジカル制RS229Cアズバルーションコニッ	
トを使用する場合は、	VOCを選択してください。 初期設定	:]
機器別設定		
接続可能台数 16台	は 機器を追加	
No 框架-名	設定	間接機器
1 PLC1	マントレーズ=Varispeed F7Sスレーブアドレス(DEC)=1	

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed F7S	•
シリーズを変更した場 確認してください。	合は、すでに使用され	ているアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1	- <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	RS232C ● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)	
通信速度	0600	
データ長 (7 💿 8	
パリティ (なし ● 偶数 ● 奇数	
ストップビット 🤇	1 02	
フロー制御 ()	なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 🛛) (sec)	
UF54 2		
送信ウェイト 🔤	0 🔆 (ms)	
RI / VCC	RI OVCC	
RS232Cの場合、9番と	ンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、	。フラダル設につることのパラレーションユニッ /CCを選択してください。 初期設定	1
機器別設定		-
接続可能台数 16台	機器を追加	
No 機器交	設定	間接機器
1 PLC1	■××⊂ トリーズ=Varispeed F7Sスレーブアドレス(DEC)=1	垣川

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed F7S	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.11 設定例 11

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー /(株)安川電機 シリーズ /インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) @ RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇7 ④8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 10 <u>二</u> (ms)	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
にするがを選択してより。テンジル最内シ2320アイジレージョンユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期最定	1
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
10. 11xter-ロ aRAE 1 PIC1	25加

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed L7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されて	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	<u> </u>
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待時間
H5-07	1	RTS 制御有 / 無

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.12 設定例 12

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 💌	
データ長 07 08	
/パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS) の XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 10 <u>二</u> (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5)で電源供給)	
しますのかを増れてきます。テンダル要わる2320アイシレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
1 PLC1 「マリーズ=Varisneed 17 スレーブアドレス(DFC)=1	2570

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed L7	-
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されて	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待時間
H5-07	1	RTS 制御有 / 無

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.13 設定例 13

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C	。 ○ RS422/485(2線式)	(为
通信速度 9600	•	
データ長 〇 7	• 8	
パリティ C なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット 💿 1	0 2	
フロー制御 💿 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)	
リトライ 2	3	
送信ウェイト 10	금 (ms)	
RI/VCC © RI	O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入	力)にするか VOC (5 V電源供給)	
し、9のかを選択できます。テンダル トを使用する場合は、VCCを選択	製R52320 アイシレーションユニッ Rしてください。 初期語	定
機器別設定		
接続可能台数 16台 2	<u> </u>	
N. 18899.47 EAG	-	間接機器
NO. 126676 307	E IーブーVariansed AC 7 レーブアドレフ(DEC)-1	追加
	- V-Agusbage HO'VN - 23 L'NV/DEO/-1	?

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed AC	-
シリーズを変更した場 確認してください。	合は、すでに使用されて	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC) 1	<u> </u>
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

3.14 設定例 14

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1					
概要		接続機器変更			
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1			
文字列データモード 1 変更					
通信設定					
通信方式 O RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)				
通信速度 9600	•				
データ長 〇 7	© 8				
パリティ 🔿 なし	● 偶数 ○ 奇数				
ストップビット 💿 1	O 2				
フロー制御 💿 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF				
タイムアウト 3 🚊	(sec)				
リトライ 2 🗄	3				
送信ウェイト 🛛 10 🚊	(ms)				
RI/VCC © RI	C VCC				
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC6V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VOC62選択して代名い。					
機器別設定 接結可能会對 16会 機	男 を追加				
	<u>67 (7,07,0</u>	問接機器			
No. 機器名 設定		追加			
1 PLC1	ズ=Varispeed ACスレーブアドレス(DEC)=1	+			

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定		×		
PLC1				
製品	インバータ	•		
シリーズ	Varispeed AC	-		
シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再 確認してください。				
スレーブアドレス(DEC)	1	<u></u>		
		初期設定		
	OK(<u>O</u>)	キャンセル		

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム] を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス(HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。
3.15 設定例 15

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)安川電橋	幾	シリーズ インバ	、ータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C C	RS422/485(2線式	t) ⓒ RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	C 7 O	8		
パリティ	○ なし ●	偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙1 C	2		
フロー制御	● なし ○	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec)			
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🔆 (ms)			
RI / VCC	© RI O	VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかち認识でき	キビンをRI(入力)にする ます。デジカル制度5225	かVCC(5V電源供給	檜)	
トを使用する場合は	、VCCを選択してくださ	:0)~1 <i>01</i> -03012. :()。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16	治 機器を追	<u>ad</u>		
N. 488 9 9 27	= 7			間接機器
	認定	000 דו <u>ה</u> דער	(DEC)-1	這加
M I PLOI		000,77777777	(DEO)-1	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[[([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	V1000	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP] を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択1
b1-02	2	運転指令選択1
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし
H5-09	2.0	CE 検出時間

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.16 設定例 16

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	_ ポート <mark> COM1</mark>
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 💌	
データ長 07 08	
/パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS) の XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 10 <u>二</u> (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5)で電源供給)	
しますのかを増れてきます。テンダル要わる2320アイシレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
1 PLC1 「マリーズ=V1000スレーブアドレス(DFC)=1	2570

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	V1000	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP] を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択1
b1-02	2	運転指令選択1
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし
H5-09	2.0	CE 検出時間

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.17 設定例 17

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚊	
送信ウェイト 10 芸 (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5V電源供給)	
に、9つかを選択できます。テンダル製品2320アイソレーションエーが トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期語文定	1
	1
接続可能台数 16台 機器を追加	
Ma 指題々 E型字	間接機器
100.11版合わコ BX/E 1 PIC1	2570

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
製品	インバータ
シリーズ	J1000 💌
シリーズを変更した場合 確認してください。	含は、すでに使用されているアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP] を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択
b1-02	2	運転指令選択
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.18 設定例 18

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 9600 💌	
データ長 07 08	
/パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 の なし の ER(DTR/CTS) の XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 10 <u>二</u> (ms)	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5)で電源供給)	
しますのかを増れてきます。テンダル要わる2320アイシレーションユニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
100.1次6874日 = 52人生 1 PLC1 - ドルリーズ=、11000 スレーブアドレス(DFC)=1	通知

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

💕 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	J1000	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	は、すでに使用されて	いるアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP] を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択
b1-02	2	運転指令選択
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.19 設定例 19

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要			
メーカー 🏳	株)安川電機	シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列デ	-好ード 🚺 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	485(4線式)
通信速度	19200	-	
データ長	O 7	• 8	
パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
ストップビッ	F ⊙ 1	O 2	
フロー制徒	〕 ● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウ	3 🗄	E (sec)	
リトライ	2	3	
送信ウェイ	۲ IO	(ms)	
RI / VCC	© RI	O YOC	
RS2320	の場合、9番ピンをRI(入)	り)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用	は する 場合は、 VCCを 選択	してください。	初期設定
機器別設定			
接続可能台	数 16台 🧃	<u> </u>	
No 地理	-Z. ≣≙⊂	,	間接機器
	а ада 1 ада 201	- ーブーマー/ドルーブ 同時形チータフレーブアドル	
la into		- A=2 ¥27 A ⊡≢ΩDC 3AV 7710	~~ ?

重要

Σ-Vシリーズを 1:n 接続する場合は送信ウェイトを 100ms 以上に設定する必要があります。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
きを	サーボ]
シリーズ	Σ-Vシリーズ 回転形モータ	-
シリーズを変更した場合 確認してください。	含は、すでに使用されているア	ドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	65 🚊	E
		初期設定
	OK(<u>0</u>) +	ルセル



Σ-V シリーズを使用する場合はスレーブアドレスを 65 ~ 95 の間の値に設定する必要があります。

通信設定は AC サーボドライブエンジニアリングツール (SigmaWin+) で行います。詳細は接続機器 のマニュアルを参照してください。

- **1** [パラメータ]メニューから[パラメータ編集]を選択し、[パラメータ編集]ダイアログボックスを 表示します。
- 2 [機能選択 (Pn0xx-)] タブの [Pn010] を選択し、[編集] をクリックします。
- 3 [入力値]にスレーブアドレス「41H」を入力し、[OK]をクリックします。
- 4 入力したアドレスが正しければ [Pn010] にチェックを付け、[サーボへ書込み]をクリックします。 電源の再投入が必要な場合は、[セットアップ]メニューから[ソフトウェアリセット]を選択して電源をリセットします。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.20 設定例 20

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要			接続機器
メーカー 闷	㈱安川電機	シリーズ インバータ/サース	·ボSIO ポート COM1
文字列デ	-タモード 🚺 変更		
通信設定			
通信方式	C RS2320	○ RS422/485(2線式) ④	RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•	
データ長	O 7	8	
パリティ	○ なし	ⓒ 偶数 ○ 奇数	k.
ストップビッ	 ● 1 	O 2	
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON	I/XOFF
タイムアウト	3	: (sec)	
リトライ	2	.	
送信ウェイ	h 10		
RI / VCC	© RI	C VOC	
RS2320	D場合、9番ピンをRI(入 S運転できます。デジタル	力)にするかVCC(5V電源供給) 制度5232Cアイバルージョンコニッ	
トを使用	する場合は、VCCを選	むてください。	初期設定
機器別設定			
接続可能台	故 16台	<u> 機器を追加</u>	
No 湘碧	2. EA:	ŧ	間接機器
		► ーズ= Σ - \の川ーズ リニアモータス レーズ	77/51/2 (DE
		- A-2 V// AVE/C XAV /	

重要

Σ-Vシリーズを 1:n 接続する場合は送信ウェイトを 100ms 以上に設定する必要があります。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

💕 個別機器設定		×
PLC1		
遊品	サーボ	•
シリーズ	Σ-Vシリーズ リニアモー	-9 -
シリーズを変更した場合 確認してください。	さは、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	65	÷
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル



Σ-Vシリーズを使用する場合はスレーブアドレスを 65 ~ 95 の間の値に設定する必要があります。

通信設定は AC サーボドライブエンジニアリングツール (SigmaWin+) で行います。詳細は接続機器 のマニュアルを参照してください。

- **1** [パラメータ]メニューから[パラメータ編集]を選択し、[パラメータ編集]ダイアログボックスを 表示します。
- 2 [機能選択 (Pn0xx-)] タブの [Pn010] を選択し、[編集] をクリックします。
- 3 [入力値]にスレーブアドレス「41H」を入力し、[OK]をクリックします。
- 4 入力したアドレスが正しければ [Pn010] にチェックを付け、[サーボへ書込み]をクリックします。 電源の再投入が必要な場合は、[セットアップ]メニューから[ソフトウェアリセット]を選択して電源をリセットします。

以上で接続機器の設定は完了です。

3.21 設定例 21

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
- 概要	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ○ RS232C ○ RS422/485位線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
パリティ C なし ④ 偶数 C 奇数	
ストップビット ①1 〇2	
フロー制御	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
JF51 2 🗮	
送信ウェイト 10 🚊 (ms)	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
しまるかを選択できます。テンダル要応32320アイソレーションユニットを使用する場合は、VOOを選択してください。	
##器만時定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
NO. 1株価AD 認定 図 1 PIC1 「「「「」」「「」」「「」」「「アドレフ(DEC)=1	追加

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

🎒 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	A1000	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キー で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーまたはダウンキーを押してパラメータ設定モード画面を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定する項目を表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を入力します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	4	伝送速度の選択(19200bps)
H5-03	1	伝送パリティの選択(偶数パリティ)
H5-06	5	送信待時間(ms)
H5-07	0	RTS 制御(無効)

MEMO • A1000 シリーズを 1:n 接続する場合は RTS 制御を「1」に設定する必要があります。

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

мемо

• 以下の項目は固定です。

設定項目	設定値
データ長	8bit
ストップ	1bit

3.22 設定例 22

■ GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 接続提講変更 メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 ○ RS232○ ○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 C RS422/485(2線式) C RS422/485(2線式) C
文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信方式 C RS232C @ RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
17/511 ## 10000
19200
データ長 〇 7 💿 8
パリティ C なし C 偶数 C 奇数
ストップピット 💿 1 💿 2
フロー制御 💿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔘 XON/XOFF
タイムアウト 3 🚍 (sec)
リトライ 2 🚊
送信ウェイト 10 🚊 (ms)
RI/VCC CRI CVCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(ハカ)にするかVOC(5V電源供給)
にするがを運転できます。テンダル製品は220パイクレージョンユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期職定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
No WSA BY:
1000000000000000000000000000000000000

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

🎒 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	A1000	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されてい	るアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

通信設定はインバータ前面のオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キー で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーまたはダウンキーを押してパラメータ設定モード画面を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定する項目を表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を入力します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	4	伝送速度の選択(19200bps)
H5-03	1	伝送パリティの選択(偶数パリティ)
H5-06	5	送信待時間(ms)
H5-07	1	RTS 制御(有効)

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

以上で接続機器の設定は完了です。

МЕМО

• 以下の項目は固定です。

設定項目	設定値
データ長	8bit
ストップ	1bit

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 ☞「3 通信設定例」(9ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接待機器1	
······································	接続機器変更
メーカー (株)安川電機 シリーズ インバータ/サーボSIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) © RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ ○ なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
UF54 2 🚍	
送信ウェイト 10 🚍 (ms)	
127 1000 10 11 10 1000 10 10 10 10 10 10 10	
にするかを選択できます。デジタル製品52320アイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを進択してくたさい。 初期設定	
	-
接続可能台数 16台 機器を追加	
1. 480 P. E.	間接機器
	追加
JPLC1 PLC1 リリーズ=Varispeed F7.スレーブアドレス(DEC)=1	4

設定項目	設定内容			
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を確 認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保証で きません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してください。			
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。			
データ長	データ長を表示します。			

設定項目	設定内容
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」 で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間(ms)を「0~255」で入力します。
МЕМО	 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

MEMO

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい(間接 機器指定)」

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
製品	インバータ	•
シリーズ	Varispeed F7	•
シリーズを変更した場合 確認してください。	合は、すでに使用されて	ているアドレスを再
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容		
製品	接続する製品を選択します。		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
スレーブアドレス	接続機器のスレーブアドレスを「1~255 (DEC)」で入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO

 オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して ください。

参照:保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
インバータ/サー	示SIO		[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS422/48 9600 8 ● なし ● 1 なし	5(4線式) • 偶数 • 2]) 奇数]
	タイムアウト(®) リトライ 送信ウェイト(m®)		3 ▼ ▲ 2 ▼ ▲ 10 ▼ ▲	
	終了		戻る	2010/03/29 13:05:47

設定項目	設定内容		
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してくだ さい。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を表示します。		

設定項目	設定内容		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式です。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。		
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。		

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
インバータ/サー	ボSIO		[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PL	01		
3	ノリーズ	550)	V1000	
7	スレーフアドレス(DEC)	1 1	
	終了		戻る	2010/03/29 13:05:57

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。
スレーブアドレス	接続機器のスレーブアドレスを「1~255 (DEC)」で入力します。

5 結線図

以下に示す結線図と(株)安川電機が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 通信用配線は主回路配線および他の動力線や電力線と分離してください。
- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{* 1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{* 2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{* 3}	1A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 50m 以内
	1B	自作ケーブル	
GP3000 ^{※ 4} (COM2)	IC ID	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 50m 以内
GP-4106 (COM1)	1E	自作ケーブル	ケーブル長 : 50m 以内
GP4000 ^{※ 5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	1F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{※6} + 自作ケーブル	ケーブル長 : 50m 以内
	1B	自作ケーブル	

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

- ※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- ※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- ※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、1A の結線図を参照してください。

1A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

1B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

1C)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



MEMO

1D)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



自作ケーブル

1E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO
 シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3 ON	
4	ON

1F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

結線図2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{* 1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) ST ^{* 2} (COM2) LT3000 (COM1)	2A 2B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 50m 以内
GP3000 ^{※ 3} (COM2)	2C	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 50m 以内
	2D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{** 4}	2E	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長 : 50m 以内
	2F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	2G	自作ケーブル	ケーブル長:50m以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{% 5} (COM2) GP-4203T (COM1)	2H	自作ケーブル	ケーブル長:50m 以内
GP4000 ^{2 6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 (COM1/2)	21	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 [※] + 自作ケーブル	ケーブル長 : 50m 以内
	2B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	2J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長:50m 以内

※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種

※3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

※5 GP-4203Tを除く

- ※6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- ※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、2A の結線図を参照してください。

2A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

2B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

2C)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



MEMO

2D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO	

2E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



2F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



МЕМО

2G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



 シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。 MEMO • 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON
2H)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



重要	 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製 PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。
MEMO	 シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。 GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

2I)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

2J)

1:1 接続の場合



シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

1:n 接続の場合

MEMO



МЕМО

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。

番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

結線図3

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{※ 1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	3A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
ST ^{** 2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{** 3}	3B 3C	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長:30m 以内
	3D	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 安川コントロール(株) 製ケーブル FADHOWA-50 (0.5m) 	
GP3000 ^{※ 4} (COM2)	3E	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長 : 30m 以内
	3F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1)	3G 3H	安川コントロール(株)製ケーブル FADHOWA-50 (0.5m) 自作ケーブル	ケーブル長: 30m 以内
GP4000 ^{× 5} (COM2)	31	 (株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1^{※6} + 安川コントロール(株)製ケーブル FADHOWA-50 (0.5m) 	
SP5000 (COM1/2)	3J	 (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1^{※7} + 自作ケーブル 	- ケーフル長:30m 以内
	3C	自作ケーブル	

- ※1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- ※2 AST-3211A および AST-3302B を除く全 ST 機種
- ※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- ※5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- ※6 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、3A の結線図を参照してください。
- ※7 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、3B の結線図を参照してください。

MEMO ・ ケーブル長の最大は 30m ですが、使用環境などにより 30m 以下でも通信できない場合があります。通信可能なケーブル長を確認してから接続してください。

Σ-Vシリーズを 1:n 接続する場合は送信ウェイトを 100ms 以上に設定する必要があります。

3A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



3B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続機器側には次のコネクタおよびケースを推奨します。
 コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+
 ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5

3C)

1:1 接続の場合

D	表 え-Sub 9ピン	示器側 ・(ソケット)	シールド	接 ハーフb	続機器側 ニッチ 14ピン
終端抵抗	ピン	信号名		ピン	信号名
100 \$2 (1/2 \V)	1	RDA		1	TXD
<u></u>	2	RDB	↓ ↓ ↓	2	*TXD
表示器	3	SDA	$ \land \rightarrow $	3	RXD
	7	SDB		4	*RXD
	5	SG		6	*RXD
	4	ERA		7	RT
	8	CSA		14	GND
	9	ERB		シェル	FG
	6	CSB			

• 1:n 接続の場合



MEMO

接続機器側には次のコネクタおよびケースを推奨します。
 コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+
 ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5

3D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



3E)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



МЕМО

接続機器側には次のコネクタおよびケースを推奨します。
 コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+
 ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5

3F)

1:1 接続の場合



自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



 ・ 接続機器前には(のコネック およい) 二人を推奨します コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+ ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5
 3G)

1:1 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容	ディップスイッチ	設定内容
1	OFF	3	ON
2	OFF	4	ON

3H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

接続機器側には次のコネクタおよびケースを推奨します。
 コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+
 ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

3I)

1:1 接続の場合





3J)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



コネクタ:本多通信工業(株)製 HDR-E14MAG1+ ケース:本多通信工業(株)製 HDR-E14LPA5

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

6.1 インバータ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
ビットレジスタ ^{※1}	BR0000.0 - BR195C.F		-	₩2
レジスタ ^{※1}		0000 - 195C	<u>[L/H</u>]	вitF

※1 ビットレジスタおよびレジスタは同じデバイスですが、ビット書込みの動作が異なります。必要に 応じて使い分けてください。

※2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

書込み専用レジスタにビット書込みを行う場合は、レジスタデバイスを使用してください。書込み 専用レジスタに書込みを行うと、読出しコマンドで通信エラーが表示されます。

MEMO ・ デバイスを使用する場合は定数 No. に対応した MEMOBUS レジスタ番号をアドレスと して設定してください。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

		内容	設定 範囲	出荷 時設 定		制御モード			
定数 No.	名称				運転 中の 変更	PG なし V/f	PG 付き V/f	PG なしク トル	MEMOBUS レジスタ
A1-02	制御モード の選択	インバータの制御モードを選択 0:PGなしV/f制御 1:PG付きV/f制御 2:PGなしベクトル制御 イニシャライズでは初期化でき ません。	$0 \sim 2$	0	×	Q	Q	Q	102H
b1-01	周波数指令 の選択	周波数指令の入力方法を設定 0:デジタルオペレータ 1:制御回路端子(アナログ入力) 2:MEMOBUS 通信 3:オプションカード 4:パルス列入力	$0 \sim 4$	1	×	Q	Q	Q	180H

例) インバータ定数 No. と MEMOBUS レジスタの対応

- 接続機器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエリ アサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.2 Σ-V シリーズ

はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
通常パラメータエリア	0000.0~0FFF.F	0000~0FFF		× 1 × 2
一時パラメータエリア	1000.0~1FFF.F	1000~1FFF	<u>L/H</u>	×1 ×2
モニタエリア	E000.0~EFFF.F	E000~EFFF		×1 ×2

※1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスへ接続機器で書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない場合があ ります。

- ※2 以下のアドレスは 32bit 長のパラメータです。2 ワード単位で読出し/書込みしてください。
 - 通常パラメータエリア 020AH / 020EH / 0210H / 0212H / 0282H / 051BH / 0520H / 0522H / 0524H / 0526H / 0531H
 一時パラメータエリア
 - 120AH / 120EH / 1210H / 1212H / 1282H / 151BH / 1520H / 1522H / 1524H / 1526H / 1531H • モニタエリア

E003H / E009H / E00EH / E010H / E012H / E016H / E01BH / E084H / E52AH / E52CH / E52EH / E530H / E532H / E534H / E536H / E538H / E53AH / E53CH / E601H / E603H / E605H / E705H / E707H / E110H / E120H / E130H

- **MEMO** 接続機器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエリ アサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 - システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エ リア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

■ 通常パラメータエリア

接続機器のユーザ定数パラメータを配置するエリアです。レジスタ番号は Pn 番号にオフセット値を 加算した値です。通常パラメータエリアのオフセット値は 0000H です。

Pn 番号やレジスタ配置の詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

操作	内容
読出し	揮発メモリ(RAM など)の値を読出します。不揮発メモリ(EEPROM など)の値は 読出せません。
書込み	揮発メモリ(RAM など)と不揮発メモリ(EEPROM など)へ値を書込みます。
MEMO • 身	異なるレジスタグループの連続読出し/連続書込みはできません。 別:07FFH から 0800H を連続読出しまたは連続書込みした場合、「データ整合エラー (33H)」または「アクセス制限エラー(31H)」になります。

• 存在しないレジスタ番号を指定すると「アクセス制限エラー(31H)」になります。

■ 一時パラメータエリア

接続機器のユーザ定数パラメータを配置するエリアです。レジスタ番号は Pn 番号にオフセット値を 加算した値です。一時パラメータエリアのオフセット値は 1000H です。 Pn 番号やレジスタ配置の詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

操作	内容
読出し	揮発メモリ(RAM など)の値を読出します。
書込み	揮発メモリ(RAM など)へ値を書込みます。

ー時パラメータエリアへの書込みは揮発メモリ(RAM など)に書込まれるため、接続機器の電源を OFF にすると値が消去されます。

サーボチューニングなどメモリへの書込み回数が多くなる操作を一時パラメータエリアで行うと次の ような利点があります。

- 不揮発メモリの素子の劣化を抑えられる
- 処理時間を短縮できる

MEMO
 異なるレジスタグループの連続読出し/連続書込みはできません。
 例:07FFHから0800Hを連続読出しまたは連続書込みした場合、「データ整合エラー(33H)」または「アクセス制限エラー(31H)」になります。

•存在しないレジスタ番号を指定すると「アクセス制限エラー(31H)」になります。

■ モニタエリア

接続機器の内部情報(運転状況、アラームなどのステータス、各種状態フラグなど)を参照するため の領域です。レジスタ番号の値を参照することで接続機器の状態を確認することができます。接続機 器が動作している間は常にレジスタの値が変化します。

レジスタ 番号	名称	単位	レジスタ 数	符号	備考
E000H	モータ回転/移動速度	回転形:min ⁻¹	1	S	Un000
E001H	指令速度	リニア形 :mm/s 回転形 :min ⁻¹	1	S	Un001
E002H	内部トルク/推力指令	リニア形 :mm/s %	1	S	Un002
E003H	回転角1(原点よりのパルス数)	Pulse	2	U	Un003
E005H	回転角2(原点よりの角度)	deg	1	U	Un004
E006H	入力信号モニタ	—	1	_	Un005
E007H	出力信号モニタ	—	1	_	Un006
E008H	入力指令パルス速度	回転形:min ⁻¹	1	S	Un007
LUUUII		リニア形 :mm/s			
E009H	偏差カウンタ(位置偏差量)	指令単位	2	S	Un008
E00BH	累積負荷率	%(周期10s)	1	U	Un009
E00CH	回生負荷率	%(周期10s)	1	U	Un00A

レジスタ 番号	名称	単位	レジスタ 数	符号	備考
E00DH	DB 抵抗消費電力	%(周期10s)	1	U	Un00B
E00EH	入力指令パルスカウンタ	Pulse	2	S	Un00C
E010H	フィードバックパルスカウンタ	Pulse	2	S	Un00D
E012H	フルクローズドフィードバック パルスカウンタ	Pulse	2	S	Un00E
E016H	延べ稼働時間	100ms	2	U	Un012
E018H	モータ最大速度上限 (リニア)	mm/s	1	U	Un010 (リニア形専用)
E019H	分周出力設定上限(リニア)	Pulse/Pitch	1	U	Un010 (リニア形専用)
E01AH	ホールセンサ情報	—	1		Un011
E01BH	フィードバックパルスカウンタ	指令単位	2	S	Un013
E01DH	有効ゲインモニタ	—	1	U	Un014
E01EH	セーフティ入出力信号モニタ	—	1	_	Un015
E084H	リニアスケールピッチ	pm	2	U	Un084
E086H	リニアスケールピッチ指数	10 のべき乗	1	S	Un085
E500H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =0	コード	1	U	Fn000-0
E501H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =1	コード	1	U	Fn000-1
E502H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =2	コード	1	U	Fn000-2
E503H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =3	コード	1	U	Fn000-3
E504H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =4	コード	1	U	Fn000-4
E505H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =5	コード	1	U	Fn000-5
E506H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =6	コード	1	U	Fn000-6
E507H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =7	コード	1	U	Fn000-7
E508H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =8	コード	1	U	Fn000-8
E509H	異常トレースバックデータ 異常発生番号 =9	コード	1	U	Fn000-9
E50AH	現在のアラーム状態	コード	1	U	
E51BH	サーボステータスモニタ	_	1	U	
E51CH	制御モードモニタ	_	1	U	
E52AH	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =0	100ms	2	U	

レジスタ 番号	名称	単位	レジスタ 数	符号	備考
E52CH	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =1	100ms	2	U	
E52EH	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =2	100ms	2	U	
E530H	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =3	100ms	2	U	
E532H	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =4	100ms	2	U	
E534H	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =5	100ms	2	U	
E536H	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =6	100ms	2	U	
E538H	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =7	100ms	2	U	
E53AH	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =8	100ms	2	U	
E53CH	異常トレースバックタイムスタンプ 異常発生番号 =9	100ms	2	U	

• 入力信号モニタ (E006H)

アナログ/パルス列形	•	指令オプ	シ	Э	ン形
------------	---	------	---	---	----

Bit	状態信号	論理	Un 番号
0	SI0(CN1-40)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
1	SII(CN1-41)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
2	SI2(CN1-42)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
3	SI3(CN1-43)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	Up005
4	SI4(CN1-44)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	01005
5	SI5(CN1-45)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
6	SI6(CN1-46)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
7	SEN(CN1-4)	0=Lo 1=Hi	

• 出力信号モニタ(E007H)

Bit	状態信号	論理	Un 番号
0	ALM(CN1-31,32)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
1	SO1(CN1-25,26)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
2	SO2(CN1-27,28)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
3	SO3(CN1-29,30)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	Un006
4	ALO1(CN1-37)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
5	ALO2(CN1-38)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
6	ALO3(CN1-39)	0=Lo(閉) 1=Hi(開)	
7	予備		

アナログ/パルス列形・指令オプション形

• セーフティ入出力信号モニタ(E01EH)

Bit	状態信号	論理	Un 番号
0	/HWBB1(CN8-3,4)	0=Lo(開) 1=Hi(閉)	
1	/HWBB2(CN8-5,6)	0=Lo(開) 1=Hi(閉)	Un015
2 ~ 7	予備		

MEMO ・ /HWBB1、/HWBB2 はセーフティオプションカード未接続時のみ有効です。セーフティ オプションカード接続時は不定となります。

• サーボステータスモニタ (E51BH)

参照值	内容
0000H	予約 (イニシャル)
0001H	アラーム発生中 (A.***)
0002H	ハードワイヤードベースブロック状態からの通電復帰待機中(HBB)
0003H	正・逆駆動禁止中 (PTNT)
0004H	正転側駆動禁止中 (P-OT)
0005H	逆転側駆動禁止中(N-OT)
0006H	モータ非通電中 (BB)
0007H	モータ通電中 (RUN)
0008H	磁極検出中 (PDET)

• 制御モードモニタ (E51CH)

参照值	内容
0000H	速度制御モード
0001H	位置制御モード
0002H	トルク制御モード

МЕМО

- JOG 運転モード、原点サーチモード、内部設定速度制御モード(接点指令)は速度制御 モードになります。
 - プログラム JOG 運転モード、アドバンストオートチューニングモード、EasyFFT モード は位置制御モードになります。

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

7.1 インバータ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
レジスタ	-	0000	ワードアドレス

7.2 Σ-V シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
通常パラメータエリア	0	0000	ワードアドレス
一時パラメータエリア	1	0001	ワードアドレス
モニタエリア	Е	0009	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。
エラー発生箇所	 MEMO ・受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。 ・デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 ・IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました(受信エラーコード:1[01H])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	 ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「表
	示器で表示されるエラー」を参照してください。

◆ 接続機器特有のエラーコード(インバータ)

エラーコード	エラー内容
02H	レジスタ番号不良エラー
21H	データ設定エラー
22H	書込みモードエラー
23H	主回路低電圧(UV)中書込みエラー
24H	定数処理中の書込みエラー

◆ 接続機器特有のエラーコード(Σ-V シリーズ)

エラーコード	エラー内容
01H	ファンクションコードエラー • 対応していないファンクションコードまたはサブファンクションコード
02H	レジスタ番号不良 • アクセスしようとしたレジスタ番号が登録されていない
03H	 個数不良 読み出し、書き込みのデータ個数が1~最大個数(機種ごとに定義)でない 書き込みモードで、メッセージ中のデータ数が指定した個数になっていない
30H	レジスタ番号不良(レベル高) • アクセスしようとしたレジスタ番号が登録されていない
31H	アクセス制限エラー • 指定したレジスタへのアクセスが許可されていない
32H	設定値範囲外エラー • 書き込みデータの設定値が上下限範囲を超えている
33H	 データ整合エラー 複数レジスタ単位でのアクセスを規定されている領域に対して、一部のレジスタのみアクセスしようとした レジスタグループを超えた複数レジスタにアクセスしようとした
34H	条件エラー • 指令メッセージ内容がレジスタ仕様規定の条件により処理できない
35H	処理競合エラー • 処理中(他チャンネルとの優先度の問題など)により処理できない